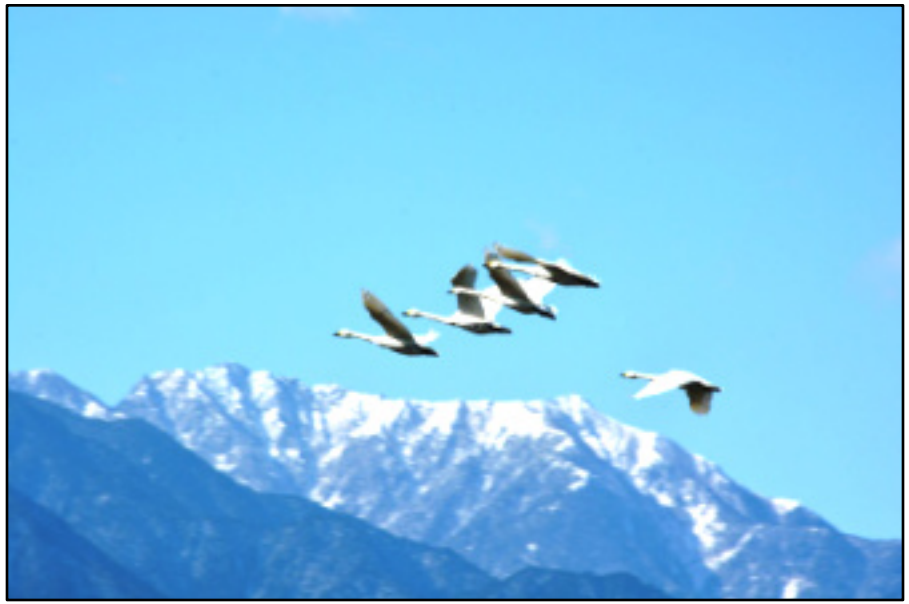


さくらの便り

杉退教会報号外
2020.5.10
都教組杉並支部
杉退教 発行



写真：「飛翔」 撮影 元神明中学校 S. Tomooさん
長野県安曇野の犀川には冬になるとシベリヤ方面からたくさんの白鳥が飛来します。後ろの山は餓鬼岳でしょうか。この山の向こうには黒部・立山が、右には鹿島槍から白馬岳へと後立山連峰が続きます。鳥の数や位置、アルプスの配置。気持ちいいですね。(Takagi評)

杉退教・さくら会 近況報告集 2020年

順不同 敬称は省略させていただきます。

「二〇二〇年度・スタート」

杉退教会長 元八成小学 K・KAZUH

今年も多くのみなさんから近況報告や所感などを寄せていただきました。ありがとうございます。

特徴的だったことは、今まさに問題になっている新型コロナウイルスによる肺炎の拡大についてみなさんがふれられていることでした。若葉の輝くこの時期に、無用な外出は控え、子どもたちも学校にも行けない状況が続いています。

大切なことは、こういう時期だからこそ、お互いの絆を深めることです。杉退教からのたよりがその一助となればと思っています。お互いがんばりましょう。

本来ならば楽しくお花見ができた四月も台無しになりました。そこで、さくらにちなんで私から三首……

訪ねびと皆声もなし老木の無心に咲かせる桜の前に
来る子を桜も迎え学び舎の再開の春に胸躍りたる
降り積もる花びら踏み仰向けば生るる若葉に光あふるる

二〇一三年 合同歌集「模様」から

(五月五日) 昭島市つつじが丘在住

「あいさつ」って良い気持ちになるなあ！

元天沼小学校 K H A R U M I

だいぶ前、自宅前に住んでいた「とんがらし屋さんのおばちゃん」は毎朝、私がおはようございます。「と言うと、必ず「行ってらっしゃいませ！」と笑顔で送ってくれました。

二人の息子を自転車の前と後ろに乗せて保育園に行く時や、その息子たちが小学校に行く時はいつも……「行ってらっしゃいませ！」の言い方が何とも古風で温かい言葉でした。

そして現在、私はその頃のおばあさんの年齢になりました。朝のウォーキングの時は、「おはようございます。気持ちのいい朝ですね。」

夜のスポーツジムに行く時は、「こんばんは、今日は寒かったですね。」とあいさつをしています。

ある時、ジムのプールで泳いだ後、お風呂場の空いている場所ので体を洗っていると、後から来た人がそばに立ち止まり、すぐに他の場所に行きました。そういえばその人はいつもこの場所です。洗って……と思い、洗い終わってから「先ほどはすみません。」と言ったがあまりいい顔はされませんでした。ちょうどジムに行く時間が私と同じらしく、プールやトレーニング室、お風呂場でたびたび会いますが、それ以来会っても何となく気まずい感じであいさつができませんでした。

気にはなっていました。何か月かが経ち、今日こそはあい

さつを……と思い、お風呂場でその人が体を洗っている場所に行き、「これからはあいさつをしたいと思いますのですが……。」と言うと、「私もそう思っていたのです。」と……なんか胸のこともやがスーと消えた感じでした。

それから言えば「こんばんは。」とあいさつを交わすようになりました。もつと親しく会話できるようになるにはまだまだですが……。

「私の散歩コース紹介」

元浜田山小学校 H S A T I K O

小平に住み始めて三年足らず、毎日の散歩は欠かせない日課である。一番の散歩コースはやはり玉川上水だ。市街地が迫っているのにコナラやクヌギの大木の林で、上水は柵で守られているので、他では殆ど見られなくなった野草もたくさん目にすることが出来る。春はシュラン、キンランギンラン、夏はオカトラオノの群生地には驚いた。ヤマユリも美しい。柵には純白のセンニンソウが絡みつく。秋、南側にワレモコウ、アキカラマツも結構多い。玉川上水に沿う津田塾大はタヌキの棲家で、豊富な自然がタヌキの生活を支えているようだ。玉川上水は、歴史遺産であるとともに動物や植物が共生する市民の憩いの場

でもある。

補足II日本の哺乳類学、生態学者である高槻成紀先生も小平
在住で、玉川上水花マツプネットワークを沿線の人々と立ち上
げ、季節ごとの自然を冊子にまとめ上げている。

(三月十六日) 小平市喜平町在住

「私は元気：でも…」

元西宮中学校 U YOSIKO

今、コロナウイルスで、ホーム生活の主人(89歳)、母(99
歳)とも「面会中止」で会うことができません。ということ
で私は家でゴロゴロ…でも元気です。来月81歳になります。

(三月七日) 川崎市多摩区在住

※「杉退教会員も今年が最後」の添え書きがありました、
お元気な間はどうぞ仲間としてお過ごしください。(係)

「コロナに負けず……」

元桃井第三小学校 O HANAKO

いつも貴重な情報を届けていただき感謝申しあげます。
コロナ対策による一斉休校の要請〜大変なことですが!!あ
とで授業時数をとりもどそう…など、子どもたちへの負担が大
きくならないようにと願うばかりです。

私は今年度から、社団法人として活動することになった演教

連組織の継続のため、専念することになりました。ハードな仕
事となっているかもしれません。子どもたちも先生方も笑顔に
なれば…との思いで続けています。

昨年末、十二月に中国深圳市(しんせん市)演劇教育フォー
ラムに声をかけていただき、四日間行ってきました。講演と二
日間のワークショップを主に、現地の幼・小・中・私の先生方
向けに行ってきました。中国の先生方がとても元気で嬉し
く思いました。なによりも先生方がとても元気で嬉し
く思いました。中国では地域によってですが、行政レベルでこ
れきました!! 中国では地域によってですが、行政レベルでこ
のような教育活動に力を入れていると伺いました。鑑賞教育な
どをまっ先に中止している日本の教育との違いを実感して帰国
しました。その後一ヶ月…コロナ感染でビツクリ。「春のフォー
ラムも…」と依頼されていましたがちよつと無理ですネ。今、
コロナに負けず何とかがんばっています…。*チラシたく
さん同封しました。こんなことをやっています。

■演劇教室を考える会「ねこはしる」を観て話し合う
■ド
ラム・ティーチャー養成セミナー■国際子ども舞台芸術
第20回ASITIEJ世界大会■キテキテ!演協連あなたの
学校へ行きます ■えんきょうれん「はじめのいっぽ」
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(三月五日) 東久留米市滝山在住

「政府の初期初動の悪さ 大!」

元富士見丘小学校 K KONOMI

繁忙期の三月を前に、突然に、早々と学校が休校となり、子
どもたちが地域に放り出されました!現役諸氏の怒りはもちろ
ん、OB、OGの怒りもMAXです。テレビは連日、コロナウ
イルスの話題に終始し、トイレットペーパーやティッシュの買
い占めは後をたたず、マスクは品切れ…云々。このコロナ騒動
のスタートはやはり政府の初期初動の悪さが大きいと思います。
いまさら何を…:…だけど、ホントに安倍さんっていいところな
いなあ〜!!

《行く先、軒なみ休止・休館となりぼやきたい高齢者》

(三月四日) 武蔵野市吉祥寺南町在住

「高原の喫茶店・おもてなし……」

お客様の反応を楽しみに……」

元杉並第四小学校 T EMIKO

早期退職し、福島県の羽鳥湖高原に週末のみ、Cafeを開き、
八年。初めてのお客様を迎えた日、フライパンを握るてが、緊
張で小さきみにふるえたことを今も覚えています。思えば内装
は自分たちでと夫と始めたものの、うまくいく訳もなく、数か
月のつもりが一年余りかかりました。喫茶・食事を出す仕事も



ちよつとひといき : いかがですか

未経験。でも、珪藻土の壁を誉めてくださる方や、数はまだ少
ないものの馴染みにしてくださる方々の励みで、大胆、大冒険
の第二の人生は今年も続きます。手作りにこだわり、メニュー
を考える大変さはありますが、苦しみながら、楽しみながらを
モットーにしています。お客様の反応がすぐに出ることも魅力
の一つです。積雪の大変さはあっても、四季の移り変わりを身
近に感じることもお気に入りです。お近くにおいでの際は是非
お立ち寄りください。(四月十三日)

福島県岩瀬郡天栄村田良尾 芝草在住

「お世話になりました」

前和田小学校 Y A T U S H I

四十年間の組合生活でした。お世話になりありがとうございます。最近では職場での『分断』と管理（経営）が目立ち、チームワーク（ワン・チーム）での職場づくりが難しくなっています。今こそ『連帯』が必要なのに。

（四月一日） 中野区大和町在住

「前向きに人生を……」

元八成小学校 M N A O M I

退職（さざんか）してはや三年、月日の経つのは本当に早いものです。健康のため、ほぼ毎日、カーブスに通って体を動かしています。

昨年の三月に、乳がんの手術をしました。先日、一年目の検診の時に、主治医に、術後私の人生が変わった話をしました。手術前は、不安と心配の日々で、何事もマイナス思考でした。しかし、手術後は、プラス思考になりました。（不思議な体験）元気に日常生活が送れることが嬉しくて、家事も楽しくなりました。一日一日感謝して生活するようになり、人生が変わったことを主治医に話すと、「そういう考え方をキャンサーギフト（がんからの贈り物）というんだよー。」と、教えてもらいま

した。これからも前向きに人生を送っていきたいと思っています。（三月三十一日） 武蔵野市境南町在住

「ゆっくり流れる時間を楽しく」

元堀之内小学校 K A Y A K O

学校現場を離れて丸一年になりました。今は自分のペースで音楽を楽しんだり、山歩きをしたり（昨年からは北多摩東退教の山の会の仲間に入れていただきました）、孫と過ごしたりと、ゆっくり流れる時間を楽しんでいます。（追記Ⅱ夫君・金田安夫さんについて「練馬で再任用フルタイムで働いています」とありました）（四月三日） 杉並区荻窪在住

「横手から……」

元高井戸東小学校 S R E I K O

唐突な一斉休校。濃密な人との交わりの三月・卒業式を断られた子どもたち、教職員の胸の内を思い、心の痛む日々。「真摯」「責任」「断腸」の言葉が空しく響く。「教職員の変形労働制」もわかり。現場の実態を知ろうとしない者が先に立つこの国の危うさを思う。ところへ都の感染拡大。……どの命も大事。この先の春が、真に花を愛で、健康で安心な生活の春になりますように。（三月二十八日） 秋田県横手市在住

『いつでも、どこでも、だれとでも って』

当たり前ではない!!』

元杉並第三小学校 I T E R U M I

毎回の便りの配達、ありがとうございます。そこから伝わってくる教育の現場は、年ごとにいろんな意味で厳しくなっています、現役の方々のご苦勞を心から憂っています。

そんな中、新型コロナウイルス感染予防対策で、通常の学校生活が妨げられています。いつ収まるのか不明だし、また学校が再開されたらそれはそれで別のご苦勞がありますよね。健康に気を付けて乗り越えてください、と心から念じています。

先日、緊急事態宣言が出されてから、現実の厳しさが報道されるたびに、『感染しないことが私の仕事!』と開き直っています。だから、『不要不急』の私の毎日の生活はとも変わりました。

大きく変わったのはレッスンのレッスンができないこと。『三密』の極め付きだからです。昨年からは、ミモザ以外にも参加して歌ってきたのですが、今年の2月にレッスンして以降、どこも、パツタリと休み。だから、家で鼻歌で気を紛らわしています。他にも変わったことはたくさんあります。友達のコンサートや発表会、観劇、講演会など、この春にたくさん予定されていたのに、次々と『キャンセル』の連絡がありました。メーデーまでもです!

変わらないのは、杉三ウオーキング。細々と（初めからそうだけどね）続けています。唯一の楽しみ。マスクして気を使っ

て歩いています。（笑）

それにしても、何という事!! 今までは、「いつでもOKよ。」「どこに行こうか。」「電車にする?それともバス?」などの日常の行動は、空気と同じで、脅かされて初めてありがたみがわかります。「いつでも、どこでも、だれとでも」と、自分の意思で動けることは、当たり前だけど、とても幸せな事なのですね。

心配していることは、国民全体の意識がコロナに向かっているときに、政府が大事なことをウヤムヤにしたり変な事を決めたりしないか、ということ。現に、森友問題で自殺した赤木さんの遺書が見つかったも「再捜査の必要なし」とそのまま。特措法も、問題点として残っていることは何かが周知されないまま改正されたし。まだまだありそう!と思っていなくちゃね。

それにしても、緊急事態宣言を出したのはいいけど、具体的な対応策のまずさや詰めめ甘さ、自治体とのズレなど様々な問題が浮かび上がって、今まで2か月何をしてきたの!とあきれてしまい、安倍一強のまずさがますます露わになってきました。次の『杉退教たより』が出るころには、この騒ぎが収束していることを心から願っています。

（四月十四日） 杉並区高井戸東在住

「コロナにめげず明るく過ごせるように」

元杉並第八小学校 N Y O U K O

眼下の武蔵国分寺公園では、コブシ・ハナノキが開花し、サクラが満開の春一色の美しい景色となっています。

昨秋から冬と長いこと心配とご迷惑をおかけしてご無沙汰してしまいました。実は去る十一月二十八日、突然の骨折のため府中市奥島整形外科病院に入院し、その後十一月十九日からは国分寺病院に転院してリハビリに専念しておりました。その間不便な入院生活のため、新年のご挨拶はおろか、近況をお知らせすることもありませんでした。幸い、優秀な医学療法士の方々のお蔭で、骨折はもとより、体の各部分の骨格矯正治療も受け、骨折前より健康体に戻って、二月七日無事退院することができました。いまは、歩行距離を少しずつ伸ばし、骨折以前の状態に戻りつつあります。皆様、コロナ禍にめげず明るく過ごせますように願っています。(三月三十日) 国分寺市西本町在住

「あきれれることばかり」

元和田中学校 I A T U K O

三月いっぱい学校を休みにするとは！ 金曜日に決めて、月曜日からは！ いきなりこんなことができてしますとは！：戦争も急に始まってしまうようにさえ感じてしまいます。不

安がはびこる三月、年度末。明日が見えません。あきれればかりです。(三月五日) 板橋区小茂根在住

「ご無沙汰しています」

元東京電力争議団 区労連事務局 M M A S A H I R O

前略、皆様には私の病気のことでごぶさたしています。六月の脳梗塞とリハビリ、二月から前立腺肥大と続いています。足は歩けるので毎日トレーニングしています。

(三月十六日) 川崎市麻生区片平在住

「予定表は真っ白」

元杉並第八小学校 K Y O U K O

みなさま、お元気でいらっしゃいますか。ぞうれっしや合唱団の練習は五月いっぱい中止となり、私の予定表は真っ白です。運動不足にならないように散歩とストレッチは続けています。またみなさまとお会いできる日が早くくるように、コロナ禍の「終息」を願うばかりです。

(四月二十五日) 杉並区宮前在住



「一刻も早く退陣を……」

元済美小学校 T K E I K O

安倍首相が突然、全国の小・中・高校を休みにすると言いました。我が家の近くの小学校は、三月二日は登校し、三日からお休み。ランドセルに荷物をいっぱい詰め込み、両手に手さげ袋や鍵盤ハーモニカ、体育袋に上ばき袋、授業で作った作品など持ち帰る姿に胸が痛みます。雨が降っているのに傘もさせないのです。ここまでやる必要があったのか。科学的根拠も明らかにされていません。働く親ごさんの苦勞を考えると、他にやり方はなかったのかと思ってしまう。桜を見る会・カジノ汚職・検事長の定年延長と民主主義のかけらもありません。一刻も早く退陣させたい。(三月九日) 中野区中央在住

「表現活動を子どもたちに」

元桃井第二小学校 M A Y A K O

学校一斉休校の時こそ、表現活動を子どもたちに保証したいです。絵日記、紙しばい、絵本づくりを通して、今おかれている現状をみつめ、表現することで、まわりの人たちとつながることができます。つまらない宿題はやめて、そういう活動をすすめてほしい。

(三月九日) 杉並区下井草在住

「近況……」

元大宮中学校 S R E I K O

病人をかかえていて心に余裕がありません。毎回いたたくニュースに元気づけられています。ありがとうございます。

(三月七日) 杉並区高円寺南在住

「じやくさまぎれが心配」

元済美養護学校 K A I K O

◎いつも楽しいニュース、企画等でお世話になっています。ありがとうございます。

◎昨年末、娘の里帰り出産となり、孫育てに何十年ぶりに振り廻されて(?)楽しんでいますが……。このコロナ騒動に、個人も社会も国も振りまわされて、不安を増大させている日々です。どさくさにまぎれて本当にこわいことがおこりそうで……。でも何もできずイライラです。もうちよつともらざるを得ないようです。

(三月十四日) 渋谷区恵比寿在住



「制作手につかず…」

元東田小学校 S K I Y O K O

コロナウイルスで世の中騒然としていますが、それにかまけてアベの桜を見る会疑惑が薄まっては困ります。そして、コロナにかまけて緊急事態の特措法を改悪しようとしていること、集会、言論、表現などの自由がしばられては一大事です。首相のパフォーマンスの全国一斉休校問題も特権乱用。給食で命をつないでいる貧困家庭の子ども達、親・祖父母が働いていて行き場のない子ども達、給食関係の中小業者の損害等々……
「こんなのありー!」私もアンデパンダン展の絵、手につかず……です。
(三月十日) 杉並区善福寺在住

「命・生態系：無視しないで!」

元済美養護学校 H Y U R I K A

環境団体の会報を読んでいたら、マイクプラスチックがティーパックの紅茶一杯に何十億個も入っているという記事が……。(カナダCBCニュース)その日からティーパックを破って、金属の茶こしを使っています。ゲノム食品は表示なしで出まわり、5Gも始まって、都は5Gアンテナ用に建物・公園・道路など何十万ヶ所開放するそうです。自動運転車、種苗法、リニアなどなども、命や生態系を無視したことが続くように思えて

なりません。趣味にチャレンジして楽しくすごしたいです。

(三月十一日) 杉並区堀ノ内在住

「若い先生によりそって…」

元杉並第七小学校 H M A Y U M I

若い先生方と国語の授業づくりについて、日々考え、話し合っています。若い先生方が給食の残りを夕食にして、夜遅くまで仕事をしています。体を壊してしまう人、いつまでこの仕事ができるんだろうと不安に思っている人、相談したいことが山ほどあるのに、信頼して話せる人がなかなかいないという人、どうやって授業力をつけたらいいのか考える時間もないこと……本当に深い悩みばかりです。システムを変え、授業の在り方を根本的に変えること以外に道はないのではなかとさえ思います。
《教師の仕事にほこりをもつ》しかし、教師の人権を守ることなしにはほこりももてません。一人一人の先生方が声を表に出していく!それを支えるしかないのかな!古希を迎えましたがまだまだがんばります。
(三月十二日) 小平市津田町在住



「たまにはいいこともある……」

元高井戸東小学校 T A K A S H I

杉並平和新聞が川柳を募集していたので投稿しました。うれしいことに四月号に掲載してくれました。おまけに、川柳作家の平宗星さんの講評を添えて……。

「これ、褒められたと受けていいんだよね。」次の句です。

任命の責任とらず木偶でくを替え

たか坊主

【評】この川柳は「五七三二」の「内在律」の十七音の定型。川柳の構造は江戸から令和の現代まで「一章に問答」があることが大切。安倍首相は「任命の責任をとらず」どうしたのか、という〈問い〉を「五七」で示し、その《答え》が「木偶を替え」だ。作者は「木偶」という表現を上手く使い、安倍首相の政治姿勢を強く諷刺している。社会批評としての現代川柳だ。

杉並支部ニュース一月号に「いろはがるた」として「任命の責任とらず首を替え」として木偶の絵を入れました。



「一斉休校：親たちの心情は…」

元大宮小学校 K H I S A E

沓掛小学校のカウンセラーの方が、保護者に発信した「保護者の皆さんへ」の文書が区内の多くの親たちの関心を呼んでいます。区も教育委員会も、こうした親たちの心情をわかってもらいたいものです。全部を紹介することはできませんが、沓掛小のホームページを開くとみることができます。

連日、メディアでは新型コロナウイルスについて、大量の情報が流されています。学校においては感染拡大防止のため、臨時休校の措置が取られ、もうすぐ2か月がたとうとしています。また、外出自粛が続く、いつ日常の生活が送れるのだろうか不安な毎日を送られているかと思えます。

これらの状況は、誰もが経験したことのない事態です。私たち人間は、強い不安を経験したり、ストレス状態が長く続いたりすると、心や身体に色々な反応や症状がでてくる場合があります。特に子どもは大人が考える以上に過敏で不安になりやすいことを理解し、安心感を与えてください。以下に具体的な症状と対応についてお知らせします。

◆具体的な症状……

・お腹や頭が痛い、よく眠れない、食欲がないなど身体に症状がでる。

- ・気持ちがいらいらくなる、イライラする、怒りっぽくなる、悲しくなる。
 - ・子どもに関してはいつもより泣いたり、かんしゃくを起こしたり、わがままになる。
 - ・急におもらしをしたり、大人にしがみついたり、いつもの様子と異なる行動がみられる。
 - ・過食や小食、さまざまな反応や症状があります。
- これらのことは、経験したことのない不安を体験したあとの自然な反応や症状であり、一時的なものです。しかし、人によっては症状が強くてたり、長引いたりすることもあると言われています。

◆このような不安やストレスの対応について・・・

- ・まずは、保護者ご自身の心と身体の健康を保つことを大事にしてください。できるだけ、規則正しい生活をし、睡眠を十分にとり、食事も三食バランスよく食べましょう。周りの大人が落ち着いてくれば、子どもも落ち着きます。
- ・正しい情報を公的なホームページで得るようにしましょう。正しい知識があれば、適切に対応でき、過度な不安を防ぐことが出来ます。

(※以下、項目のみを記載します)

- ◇不安になりすぎて、情報番組を見過ぎない、検索しすぎないようにしましょう。

- ◇ひとりで子育てを抱えない。頼れるところは誰かに頼る。

「子どもたちが心配です」

元富士見ヶ丘中学校 K K E I K O

家の近くの公園では、子どもたちは彼らなりに距離を測っているのでしょうか、キャッチボールやブランコ遊びやおしゃべりをする小中学生が。本当に切なくなりそうです。

今朝はお向かいの親子がジョギングに出かけました。

一番の心配は給食がなくなることです。勉強の遅れは頑張れば取り戻せます。でも、身体は毎日の栄養が必要です。スーパリーの棚からカップラーメンが消えていく、つて聞くとなお心配です。出来ることは何だろうとて考えました。

*教育委員会に「緊急要請」を提出しました。

杉並区教育委員会 教育長 白石高士様 4月8日
 新型コロナウイルス感染症に関わる公立学校の臨時休業の措置に伴う児童・生徒への給食提供に関する緊急要望書

学校の給食室で弁当を作って希望者に提供してほしいという要望です。実施している自治体もあるようですから工夫すればできるでしょう。先日は、担当の学務課長に直接要望をしてみました。休校が長引くことも考えられますから、早期に実現したいです。

*弁当のテイクアウトを始めました。

(高円寺南の喫茶店 ぼれやくれ) 思いを共感して、主とパートナーが心を込めて作るこだわり弁当。

- ◇今、出来ないことに目を向けない。
- ◇あなたにとっても「今も」「変わらずにできる」「大好きなこと」は何ですか？
- ◇できるだけ手抜きはしてください。
- ◇不安な気持ちは信頼できる友人や家族と分かちあう。
- ◇一日に少しの時間でもいいので、当たり前の親子の日常の時間をもつ

◇気持ちを落ち着けるために、アルコールやたばこあるいは病院で処方された薬以外の薬剤に過度に頼らないように。
 ◇それでも不安でしたら、地域の心の専門家やスクールカウンセラーなどにご相談ください。

※スクールカウンセラーは休校明けの勤務となってしまうますが、一般社団法人日本臨床心理士会と、一般社団法人日本公認心理師協会の共同事業で立ち上げられた電話相談をご案内します。

『新型コロナ こころの健康相談電話』

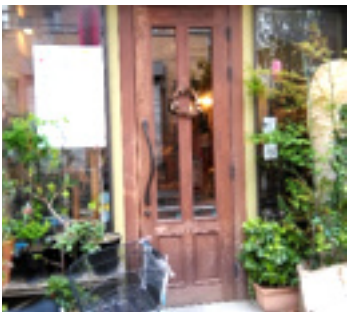
期間 4月20日から5月6日まで (緊急事態宣言の状況によつては期間変更あり)

期日 月曜日・金曜日(連休中) 5月4日・5月6日は実施)
 時間 午前10時～12時 および 午後7時～9時

白電話 050-3628-5672

多くのご相談を受けるために相談時間は30分以内。

(以上)



親子の心と身体の元気のために。

店のガラス窓に貼った案内を立ち止まって読んだりスマホに撮ったりして行く人たち。3週目になりました。教組の親子が利用しています。先日も仕事帰りの若いお母さんが「助かります！ありがとうございます」と言つて注文をして行かれました。子どもはもちろん、大人だつて煮詰まってしまうすよね。

(四月二十八日) 杉並区阿佐ヶ谷南在住

編集後記

みなさん原稿送付ありがとうございました。皆さんの心意気をひしひしと感じました。例年より四ページ増えました。
 T・Eさんの福島カフェ：グーグルマップでパソコン散歩？していたら素敵なお店を発見。4ページの写真。違っていたらごめんなさい。T